

## 令和元年度第1回酒田市女性活躍推進懇話会提言等概要

### 【育休代替人材バンクについて】

・開設当初と課題が変化してきている。育休が取れなくて辞める人が少ない状況を踏まえ、人材バンク事業は終了する。なお、国の機関であるハローワークでは、従前から産休育休代替の求人を取扱っておりマッチングの実績もあるので、市民及び企業へのサービスは担保されている。

・最近は育休取得より育休明けへのフォローが重要である。短時間勤務など企業に柔軟な対応を促すなど、事業主や管理職への意識啓発が必要である。

### 【日本一女性が働きやすいまちに向けて】

・上位概念として「ジェンダー平等」掲げ、地域の文化・メンタリティを醸成していく必要がある。

・男性の育児休業の取得を働きかけることが必要である。

・男性の家庭への参画を高めるための意識の醸成が必要である。

### ■その他意見等

・育休から復帰した人への支援体制づくり（短時間勤務、雰囲気、本人の不安解消やキャリアアップ等）が課題である。頑張りたい人が頑張れる状況をどのように作るか。

・育児もそうだが、これからは介護の時代になるのではないか。男性も女性も働きやすい環境づくりのための、優良事例等の共有が必要である。

・女性頑張れだけではなく、男性も頑張れということで男性の育休取得を勧めている。

・人材の代替として、市でスキルを持っている人のネットワークをつくり、補えるといい。

・非正規雇用率が高いシングルマザー（等）の正社員化も1つの視点として持つべきである。